日本で
キリストに仕えて

宣教報告

2026年10月



兄弟姉妹、支援者、宣教のパートナーの皆様へ

人を通して届く神様の顧み

恵みと平安がありますように。

今月も、日本での私たち家族の歩みと宣教の働きの中で、神様がなしてくださっていることを分かち合えることを感謝します。

祈り、経済的な支援、励ましをもって共に歩んでくださるお一人おひとりに感謝しています。この働きは私たちだけで担っているのではないと知ることが、大きな喜びです。



家族と過ごす、愛と支えに満ちた時間。

秋と共に、助けが与えられました。

日本では日ごとに寒さが増してきました。この時期に、ナディーネのおばがブラジルから訪ねて来てくれました。特に、ハイリスク妊娠中の私たちを支えるための来日で、その存在は家族にとって大きな祝福です。

一緒に過ごせる喜びに加え、妊娠に伴うさまざまな配慮が必要な今、身近に支えてくれる人がいることは大きな助けです。おばは12月末まで滞在する予定です。時にかなった主の顧みに、心から感謝しています。

私たちの家族

アメリアを待ち望み 一日一日を歩む



アメリアを迎える準備を進めています。

神様の恵みによって、ナディーネの妊娠は順調に経過しています。ハイリスク妊娠で、強い痛みが続く時期もありましたが、医師たちは、アメリアが早産にならず、適切な時期まで妊娠を継続できることに希望を持っています。

私たちはこのことを、祈りへの応え、そして神様の恵みの表れとして受け止めています。病院のスタッフの丁寧な対応とケアにも感謝しています。

特に、友人であり働きのパートナーでもあるヒロキ兄に感謝しています。診察に同行して通訳をしてくださり、流暢な日本語で医師との意思疎通を助け、一つひとつの説明をよく理解できるよう支えてくださっています。

アメリアを迎えるために必要な準備を始めています。これからも主が必要を満たしてくださると信じています。不安がある中でも、一日一日、主の顧みに身を委ねることを学んでいます。

地域教会

食卓を囲み
交わりを深める

日曜日の聖書の学びを続け、みことばを教えることに励み、共に信仰を深めることを願っています。主の憐れみを日々経験し、仕える機会が与えられることに感謝しています。

共に過ごす時間を

礼拝後の昼食は、私たちにとって特に大切な時間になっています。日本での人との関わり方は、多くのブラジル人にとって慣れ親しんだものとは異なります。教会によっては、礼拝後に自然に語り合う時間が短いこともあります。

食卓を囲むことで、ゆっくり話し、関係を深め、兄弟姉妹の絆を育むことができます。日本人の兄弟姉妹も以前より長く残り、この交わりを楽しんでくださっています。

毎週日曜日に昼食を用意するには、労力と気力が必要です。進んで手伝ってくださる方々もおられ、一人ひとりに感謝しています。この時間を育み続けられるよう、主に喜びと力を求めています。

共に仕える仲間を

伝道にも、教会の実際的な仕事にも、喜んで仕える人々を神様が起こしてくださるよう、祈り続けています。新しく来られる方を温かく迎え、忠実に働きを進めるために、助けが必要です。

主は人を送り、兄弟姉妹に力を与えて、祈りに応えてくださっています。これからも必要な働き人を備えてくださると信じています。

近隣の日本人の方々のためにもお祈りください。みことばが蒔かれる土壌を整え、訪れる方を心から歓迎したいと願っています。主が扉を開き、福音への関心を与え、愛と忍耐と忠実さをもってキリストを伝える知恵をくださるように。

TOGETHERプロジェクト / 浜松

ブラジルと日本を結ぶ架け橋を築く



Togetherプロジェクト：浜松に集った牧師・教会リーダーたち。

浜松で開催されたTogetherプロジェクトの集まりに参加しました。在日ブラジル人教会の牧師やリーダーが集い、日本について考え、宣教のために共に歩むことの大切さを語り合いました。

FLAM（Faculdade Latino-Americana）学長のファビオ・イトウ牧師、SEPALディレクターのカシアノ牧師、神学者でありデジタル分野でも発信するヴィトル・フォンタナ氏とお話しする機会がありました。

在日ブラジル人教会がどのように協力し、日本での働きを支えられるかを考える、貴重なひとときでした。

この取り組みは、ブラジル人教会の枠を超えています。プロジェクトは日本人牧師とも対話を重ね、ブラジルと日本を結ぶ架け橋となり、共に仕えたいと願う兄弟姉妹をつないでいます。

私たちは、この協力の可能性に大きな期待を抱いています。互いに耳を傾け、学び、ブラジル人教会が日本の教会に貢献できる道を探し続けたいと願っています。

これらの関係と、これから開かれる機会のためにお祈りください。主がこの歩みを導き、一致して歩むための知恵を与えてくださるように。

子どもたち

二つの文化の中で キリストに根ざして





日本での学校生活のひとこま。

神様の恵みによって、子どもたちは元気に学校生活を送り、日本の言葉や文化にも少しずつ慣れています。エリザは日本語の読み書きを始めました。家庭では、機会を見つけてポルトガル語にも少しずつ取り組んでいます。

自分たちとは異なる文化の中で子育てをすることには、特有の難しさがあります。子どもたちが複数の文化の中で育つからこそ、自分自身の歩みやルーツを理解できるよう助けたいと願っています。

何よりも、キリストに根ざしたアイデンティティを育んでほしいと願っています。親としてこの責任を果たせるよう、主が知恵と恵みを与えてくださるようにお祈りください。

子どもたちが霊的にも心の面でも守られるようにお祈りください。主を畏れ、喜びを持ち、神様の愛に安心し、キリストに属する恵みを知って成長できますように。

日本での生活と働きを続けるために

次の一歩に向けて備える

2027

ビザの更新

来年は家族全員のビザを更新する予定です。手数料の変更を確認しながら、大幅な費用の増加に備えています。そのため、慎重な資金計画が必要です。

必要な費用を主が備えてくださり、みこころに従って更新が認められるよう祈っています。

この必要を覚えてお祈りください。法的な手続きに責任をもって対応し、安心して日本での働きを続けたいと願っています。



子どもたちと、この地で重ねてきた暮らし。

ここまで導いて
くださった神様が
これからも私たちを
支えてくださいます。

共にお祈りください

共に宣教を担って
くださり、感謝します。

宣教は、キリストのからだ全体で担う働きです。一つひとつの祈り、献金、励ましが、この歩みを支えてくださっています。

01 **アメリアの誕生に向けて**
ナディーネと赤ちゃんが守られ、健康と力が与えられ、適切な時期に出産を迎えられるように。

02 **私たちの家族のために**
子どもたちの適応、子育ての知恵、そして霊的・精神的な守りのために。

03 **教会と伝道のために**
近隣の方々の心が開かれ、新しい方が訪れ、共に仕える働き人が起こされるように。

04 **教会の交わりのために**
交わりの時間を育み続けるために、気力、必要な備え、協力者が与えられるように。

05 **ビザの更新のために**
2027年の更新手続き全体が導かれ、必要な費用が備えられるように。

この歩みを共にしてくださり、心から感謝します。
成長させてくださるのは神様だと信じ、みことばを蒔き続けます。

キリストにある感謝と愛を込めて
ソウザ一家